

都政新報

発行所 都政新報社

〒160-0023 東京都新宿区

西新宿7-23-1 T Sビル

(総務・読者) 03-5330-8781

(企画広告) 03-5330-8784

(編集) 03-5330-8786

(制作) 03-5330-8788

(出版) 03-5330-8788

(ファクス) 03-5330-8808

購読料 月1,680円(税込)

毎週火・金曜日発行

ただし、祝日は休刊

©都政新報社 2012

号外

23日は休刊のため、電子号外でお知らせします

政策に電力改革や地下鉄改革など

石原前知事の任期半ばでの辞任に伴う都知事選(29日告示、12月16日投票)に、猪瀬直樹副知事(66)が21日、都庁内で会見を開き、「都民の安全・安心を守るため、日本を東京から支えるた

め、重責を担っていく決心をした」と述べ、正式に出馬表明を行った。猪瀬氏は、マニフェストとして電力エネルギー改革、地下鉄一元化、教育再生と子育て支援、ハローワークの職

業紹介機能の移管などを掲げた。東京五輪招致は引き続き招致運動を続けるとした。猪瀬氏は会見で「東京の潜在力を発揮して、成長、安全・安心を確立したい」と語った。また、「都議会

12月16日の都知事選挙

猪瀬副知事が出馬表明



出馬表明する猪瀬副知事=21日午後2時すぎ、都庁第一本庁舎6階会見室で

と一緒に東京をさらに発展させていきたい」として、会見終了後、都議会各会派にあいさつに回った。石原前知事は10月25日の辞任会見で「私は猪瀬さんで十分だと思う。あれだけ優秀な副知事を見たことない」と後継指名を行っていた。猪瀬氏に対して、自民、公明、みんな、維新の各党は支援する方針を決定している。都議会第1党の民主党は支援候補を一本化できず、自主投票にするかは明日22日の臨時総会で最終決定する見通し。猪瀬氏は1946年生まれ、長野県出身。信州大学卒、明治大学大学院政治学専攻博士前期課程修了。87年に『ミカドの肖像』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。小泉政権下では道路関係4公団民営化推進委員会委員を務めた。石原知事に請われ、07年6月に都副知事に就任し、地下鉄一元化や東電改革、天然ガス発電所建設などに携わってきた。石原氏の辞任で11月1日から知事職務代理を務めているが、知事選に立候補することにより、29日に自動失職となる見込み。都知事選にはこれまで、前神奈川県知事の松沢成文氏、前日弁連会長で共産と社民が支持する宇都宮健児氏、元衆議院議員の笹川堯氏、発明家の中松義郎氏などが名乗りを上げている。

都政新報購読
お申し込みは
03-5330-8781

都政新報電子版 www.tosei-d.com に今すぐアクセス